

平成27年2月20日
四国地方整備局
土佐国道事務所

橋梁の設計不具合に伴う修補工事を実施します。

（一般国道33号高知西バイパス こうちにし 竹崎橋 たけざきばし）

一般国道33号高知西バイパスの是友IC これとも への接続道路で整備中の竹崎橋において、設計ミスにより地震時に橋梁が不安定になることが判明したことから、下記のとおり『設計のかし修補^{※1}に伴う下部補強工事』を実施しますのでお知らせします。

工事期間中は、周辺の町道において規制を伴いますので、ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

■概要

- ・竹崎橋のA1橋台、A2橋台、P1橋脚において、設計ミスがわかったため、修正設計を行い、修補工事を実施するものです。橋の設計に用いる地質調査結果の入力ミスによりA1橋台、A2橋台、P1橋脚において、地震時に基礎杭が許容値を超える設計となっていたことが分かりました。

■工事場所、工事完了時期

- ・高知県吾川郡いの町字竹崎地先
- ・工事完了目途は、平成27年7月下旬を予定しています。

■修補工事の内容

- ・地震時の耐力不足を補うために、A1橋台、A2橋台、P1橋脚で修補工事を行います。
- なお、橋梁の設計を実施した復建調査設計(株)(広島県広島市)に対し、かし修補請求を行い、修補にかかった費用は、全て設計者に請求することとしています。

※1: かし(瑕疵)修補とは、成果物に瑕疵があるときに発注者が受注者に対して請求できる手直しのことで、業務等の契約約款に定められています。(民法第634条第1項でも瑕疵修補請求権が定められています。)

お問い合わせ先 (○主な問い合わせ先)

国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所 電話 088-884-0359(代表)

副所長(改築) おきうえ 沖上 しげと 茂人 (内線)204

○事業対策官 きかい 坂井 つよし 剛 (内線)208

一般国道33号高知西バイパス 竹崎橋の概要

橋梁形式

橋 長：39.1m 支間長：18.8m+18.8m
 幅 員：0.75m+2@3.0m+0.75m
 上部工：PC2径間連結プレテンション方式T桁（未施工）
 下部工：逆T式橋台、張出し式橋脚（施工済み）
 基礎工：橋台・橋脚 場所打ち杭（施工済み）

現地状況



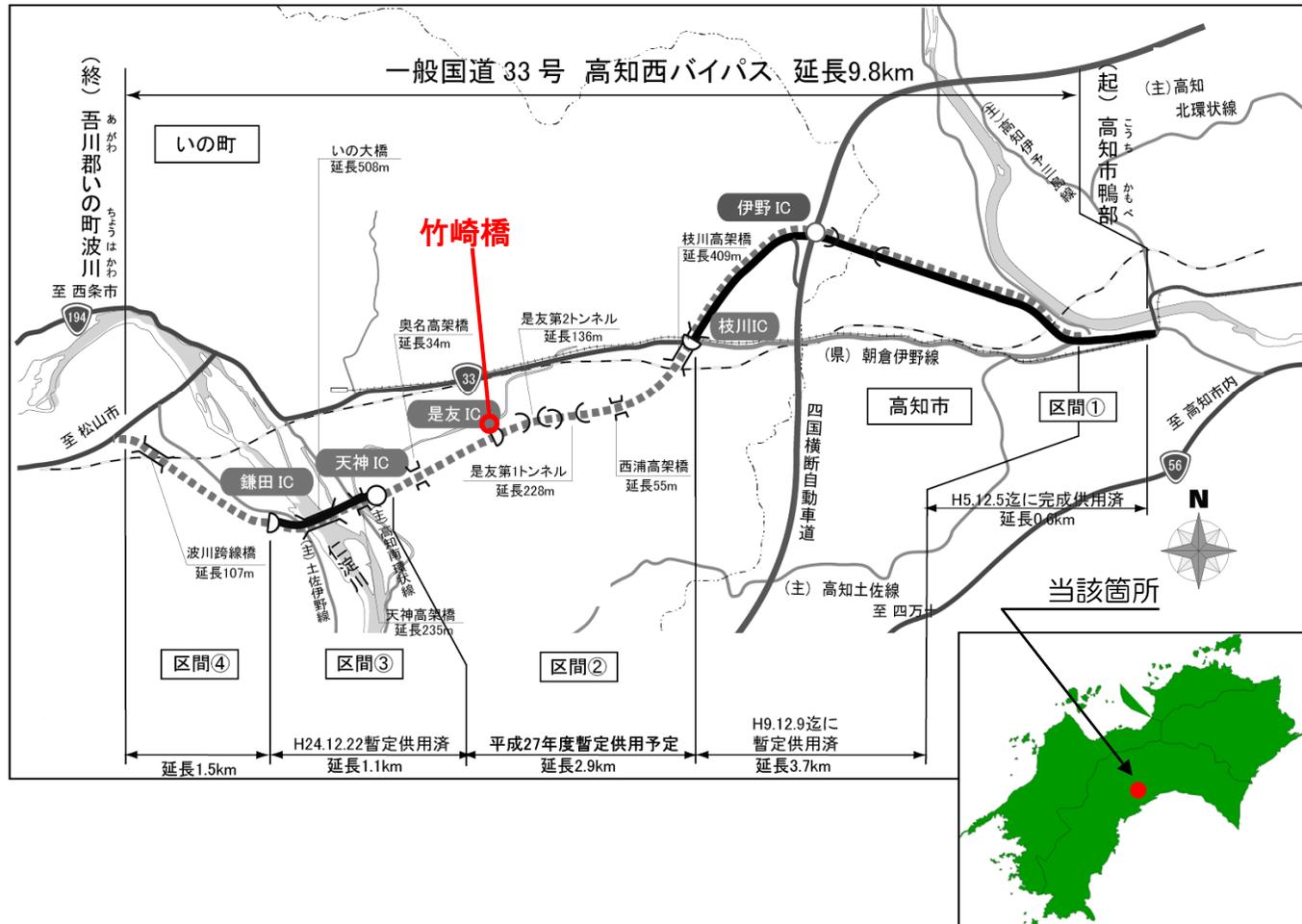
A1橋台



A2橋台



P1橋脚



一般国道33号高知西バイパス 竹崎橋の修補工事概要

修補工事(橋梁側面図)

補強対策

耐力が不足する、A1,A2橋台・P1橋脚はそれぞれ補強工事を行う。

<A1橋台>

- 増し杭工(場所打ち杭)
- 杭径φ1200mm×5本

<A2橋台>

- 軽量盛土工法(FCB)

<P1橋脚>

- 増し杭工
(高耐久マイクロパイル工)
- 杭径φ177.8mm×4本

